

昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1945 年 6 月

Q. どこでしょうか？



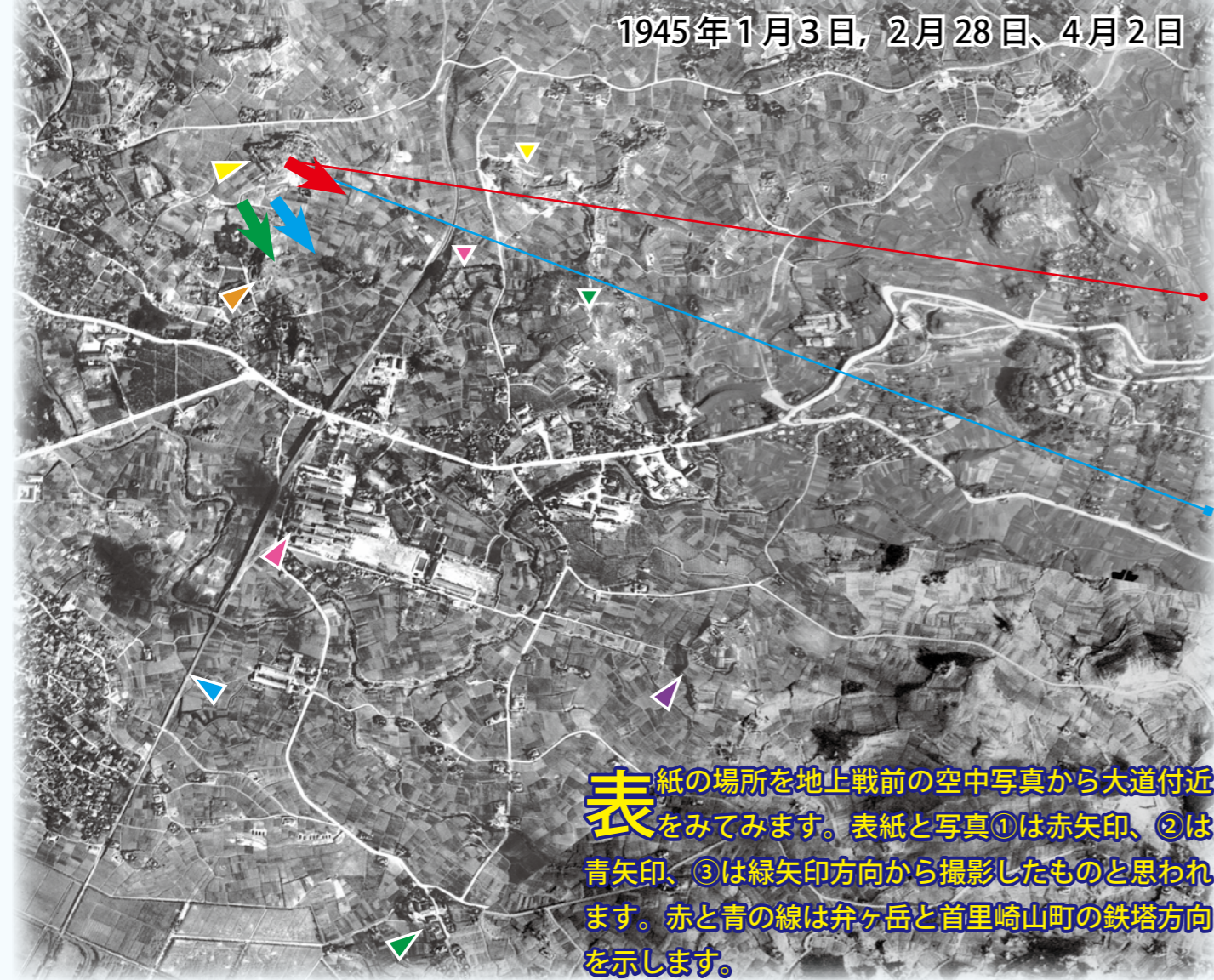
(写真番号：91-15-1 をカラー処理)

A. 那覇市安里・大道付近

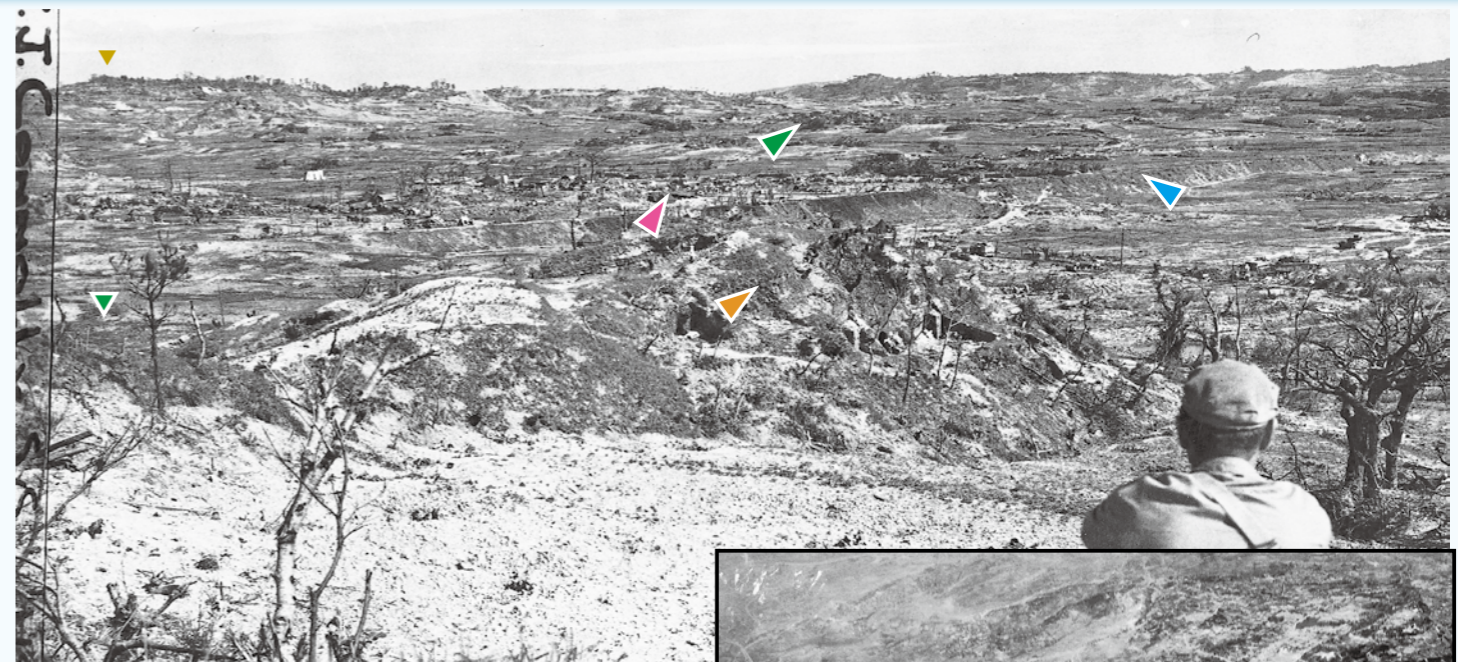
地図を表示

場所の特定が難しい写真でした。米軍の説明によると「シュガーローフ・ヒルの頂上より東に首里の丘陵地帯を望む」とあります。激戦地の荒涼とした風景です。首里の丘陵にヒントがありました。どうやら▼が弁ヶ岳で、▼が首里崎山町の鉄塔のようです。その間に首里城がみえます。地図上でシュガーローフ・ヒルから弁ヶ岳、および鉄塔へとそれぞれ直線を引くと位置関係がわかってきます。画面中央はモノレールおもろまち駅南側の安里と大道付近と思われます。

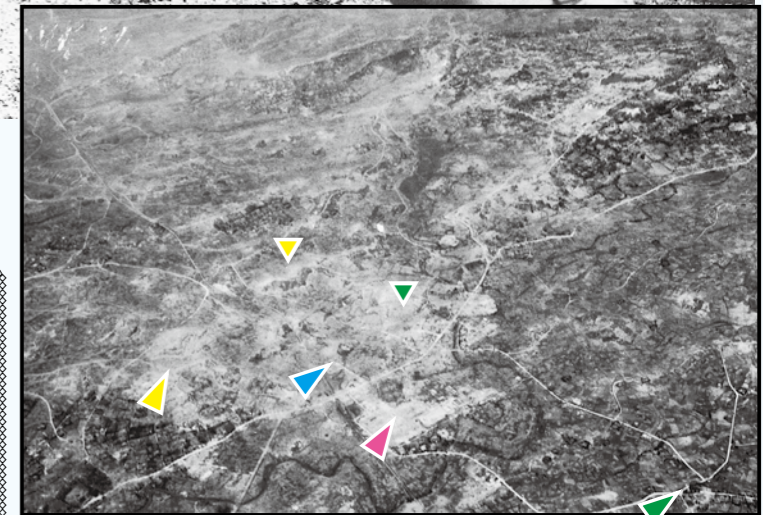
1945年1月3日、2月28日、4月2日



写真① 表紙と同じ写真で、シュガーローフ・ヒル頂上から首里方面をみたものです。▼は弁ヶ岳、▼は首里崎山町の鉄塔です。▼は米軍がハーフムーン・ヒルと呼んでいる丘、▼は大道毛付近、▲は軽便鉄道軌道のように。▼は下大道原付近（安里十字路から北に向かう切り通し道付近の丘。ナガタニヤマか）と思われます。（1945 年 6 月）（写真番号：91-15-1）



写真③ 遠方の▼は識名の丘陵地帯とされます。正面の丘は▲現在のはちまんむい公園、▲沖繩師範学校女子部・沖縄県立第一高等女学校跡、▲輕便鉄道軌道、▲真和志村役場付近と思われます。(1945 年 6 月) (写真番号: 91-12-4)

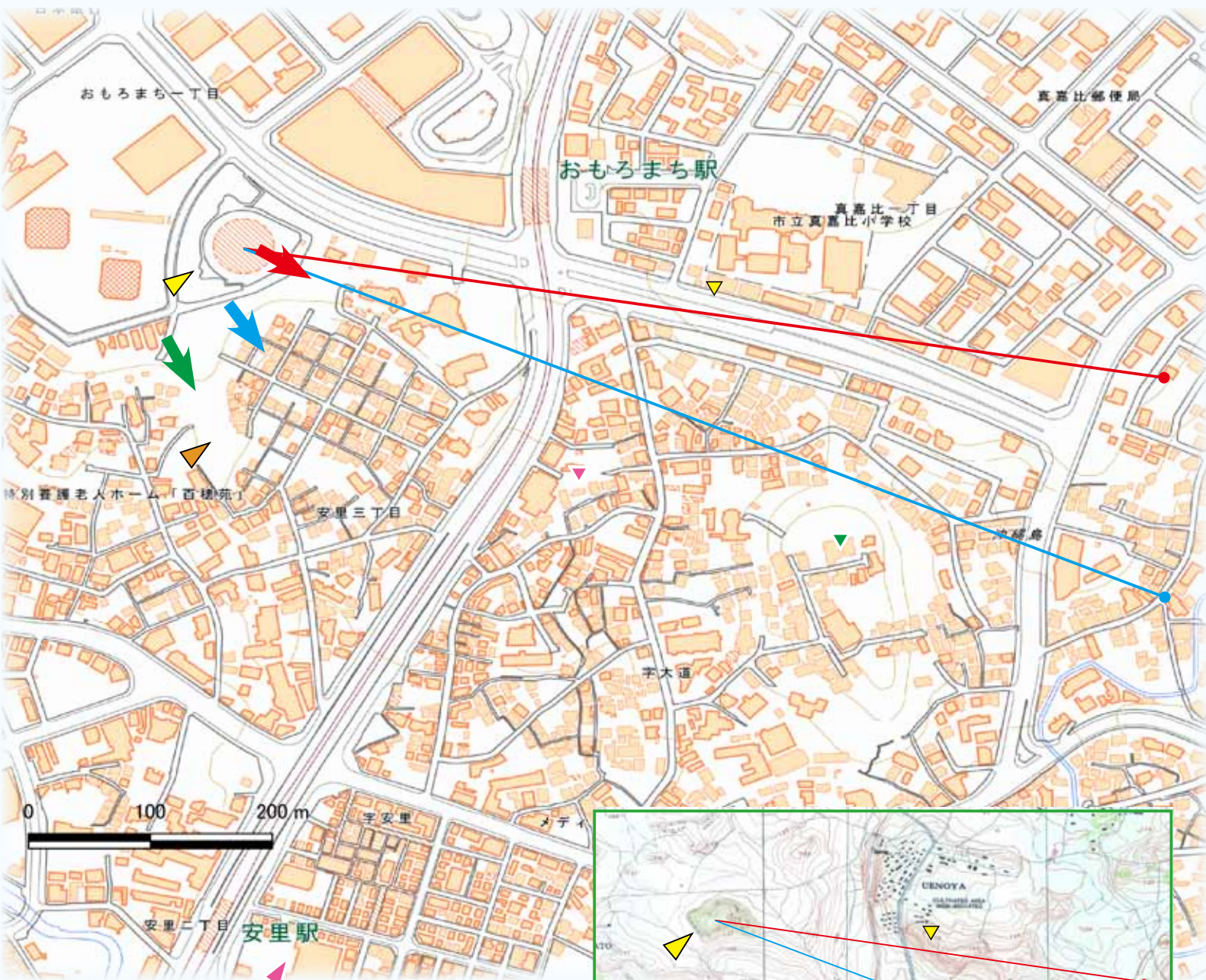


写真④ 激戦当時の▲シュガーローフ・ヒルと▼ハーフムーン・ヒル付近。写真右上には首里の龍潭が確認されます（1945年5月18日）（資料コード：0000256418）

▼弁ヶ岳、▼首里崎山町の鉄塔、▼ハーフムーン・ヒル、▼大道毛*、▼下大道原付近の丘（ナガタニヤマか**）、▼識名、▲シュガーローフ・ヒル、▲現在のはちまんむい公園、▲沖縄師範学校女子部・沖縄県立第一高等女学校、▲軽便鉄道軌道、▲現在の松川小学校付近、▲真和志村役場

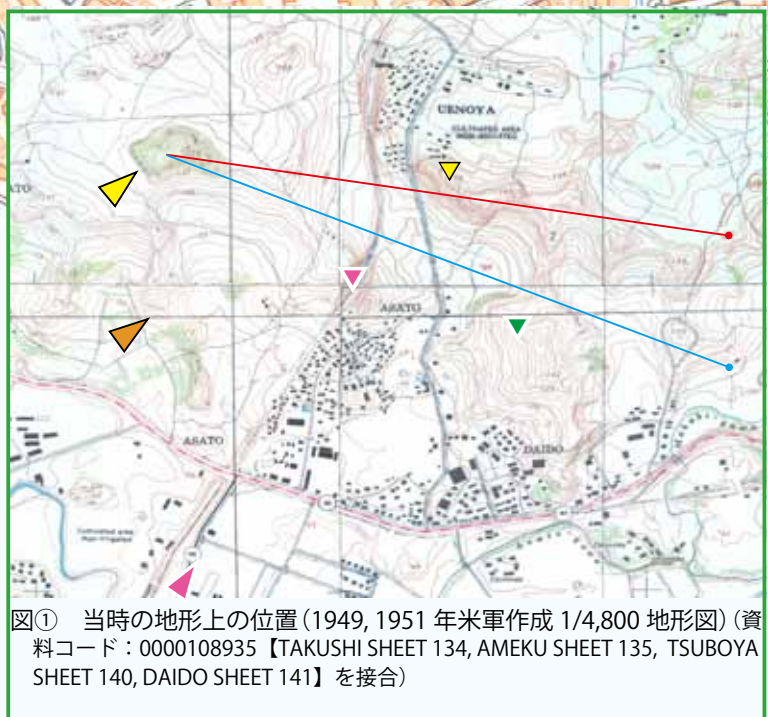


写真② 写真①の▼下大道原付近の丘が確認され、①②が連続的になっているようです。シュガーローフ・ヒル頂上より低い所から南東方向を撮影していると思われます。▲は軽便鉄道軌道、▲は現在の松川小学校付近、遠方の▼は識名の丘陵地帯でしょうか。写真で白く写っているのは砲撃によって表土がはぎとられた所と思われます。(1945年6月)(写真番号: 92-13-2)



前頁の矢印や三角印を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。地図上の線、矢印、三角印は空中写真とほぼ同じ位置になります。また、右の図①は、当時の地形図を示し、同じ位置に線や三角印を入れています。

注 * 那覇市史 1979『那覇の歴史民俗地図』
 ** 『安里誌』刊行会 2011『那覇市安里誌』



図① 当時の地形上の位置 (1949, 1951 年米軍作成 1/4,800 地形図) (資料コード：0000108935 【TAKUSHI SHEET 134, AMEKU SHEET 135, TSUBOYA SHEET 140, DAIDO SHEET 141】を接合)

昔おきなわ風景探索 No. 13

発行日：令和7年（2025）10月25日

編集執筆：当山昌直（1951年生）

発行：（公財）沖縄県文化芸術振興会 公文書管理課

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内

電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

